

11月の園だより

社会福祉法人　であいの里　さやま保育園

2026年11月1日

＊保育目標　　領解　こころがけます＊

・約束やルールのある遊びを友だちと一緒に楽しむ。

・秋の自然物を使って、工夫したり、考えたりしながら作ってみる

今月の行事予定

1日　佐山ふるさとまつり出展　4日　奉仕作業

6日　さつまいも掘り　16日　やきいも

10日　礼拝　12日　引き渡し訓練（16:00までに降園）

13日ももいちご秋のえんそく（手作り弁当／雨天17日）

発育測定（12日うさぎりす　13日あひるひよこ　16日ぞうきりん）

18日　保育園説明会　19日　クッキー作り

20日　誕生会　25日　5歳児シルエット劇場

26日　ほし組　佐山小1年生と交流会「秋遊び」

27日　集金引落



【法話】　よい心

夏の暑さがウソのように、涼しさ、肌寒さを感じるようになりました。地域の方のお陰で、夏の暑さを耐えたさつまいもを、今年もこれから掘らせていただきます。そして、みんなで焼きいもを味わう経験もさせていただきます。実りの秋に、一回り大きく成長できる体験を重ねていきたいと思っています。そして、地域の皆さん、大地の恵み、命のつながりに感謝いたします。

１０月の園だよりでは、私たち人間の心は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六つの迷いの心が、次から次へとわきおこってくることを書きました。この六つの悪い心は、死ぬまで決して私の心から、なくなることはありません。でも、仏さまの教えを一生懸命に聞くと、仏さまのよい心が、私の悪い心をつつんでくださいます。仏さまのよい心とは、

声聞（しょうもん）の心（正しい教えを一生懸命に聞く心）

縁覚（えんがく）の心（正しい道理をわきまえて反省する心）

菩薩（ぼさつ）の心（みんなのことを考える心）

仏（ぶつ）の心（私たちすべてのものを救わずにはおかないと誓われた阿弥陀さまのような心）の四つです。

仏さまのよい心をいただいて、私の悪い心がそれにつつまれていても、縁にふれれば、やっぱり悪い心がニョキッと顔を出してしまいます。仏さまのよい心につつまれてありがとう、そして悪い心にお恥ずかしい、ごめんなさいと

「感謝（かんしゃ）」と「慚愧（ざんぎ）」の生活をさせていただきたいものです。

合　掌

【たのしいわくきら☆うれしいわくきら☆ みんなで　いっぱい　がんばるぞ！エイエイオー！】

「わくきら☆スポッちゃ、楽しかった！」きららドームのあちらこちらから聞こえてきました。

今年もやりたい遊びを経験しながら、こどもたちの思いを競技に取り入れ、いろんな競技が日を追うごとにどんどん進化し、楽しそうで、やりたくなってきて、「先生に手伝ってもらったらできそう」、「ほし組さんとならできそう」が、「一人で挑戦してみたい」に変化していく経過を見ることができました。異年齢保育のお陰か、こども同士が良い距離間で見守り、お友達が頑張る気持ちになるまで待ってくれている姿や、いっしょに頑張ろう！と手を差し伸べたり、名前を呼んで応援したりする姿をふだんの練習からもたくさん見ることができました。

当日は、保護者の皆様ならではのこどもたちへのやさしい眼差しや声援のお陰で、ども子も安心して笑顔で楽しむ様子が見られました。また、競技に積極的にご参加いただき、本気でこどもたちと戦っていただけたことは、何より心が動く体験でありました。保護者の皆様の姿を真似て、負けるものかと走り抜く環状線リレーのほし組・いちご組一人ひとりの勇姿は、ほいくえん西側駐車場での姿を越える、こどもたちの成長であると感じました。

「楽しくカラークロスができて良かったです。」「環状線リレーでは負けて悔しかったです。」閉会式ではこどもたちが堂々と、その時感じた思いをマイクで話す事もできました。今年から保護者の皆様には、最初と最後のあいさつで、こどもたちを応援いただきました。卒園児の皆さんもたくさん来てくれて、地域の皆様にもたくさん盛り上げていただきました。「こどもたちをまん中」に、保護者も、先生たちも、地域の方も、本気になって、全力で、こどもたちと楽しんで、やりきっていただいたお陰で、こどもたちの大きな成長の糧になった1日でした。

（今年度卒園児記念品として、4台の三輪車を購入いたしました。保護者会費により徴収済みです。ありがとうございました。）